

七十七銀女川支店遺族・田村さん夫妻講演

「最悪考えて 迅速避難を」

東日本大震災の津波で七十七銀行女川支店（女川町）の行員だった長男健太さん（当時26歳）を失った大崎市の田村孝行さん（69）、弘美さん（69）夫妻が9日、同市の松山小（児童162人）で講話を行った。健太さんの後輩となる全校児童に命の大切さと災害に備える重要性を伝えた。

県内の小学校初大崎・松山小

夫妻にとって県内では初めてとなる小学校での講話。孝行さんは、スライドを使いながら当時の状況を説明した。同町には避難できる高台があったが、行員たちは支店



ミモザを使って壁飾りを作る

「8日、気仙沼市内の女性有志でつくる「気仙沼つばき会」による初のイベント「ジェンダー平等みんなでやっぺし〜今もいけど未来はもっといい〜」が市まち・ひと・しごと交流プラザであった。ジェンダーの近田敬子さんが「女性の政治参画が変える地域の未来」と題して講演した。

犠牲の長男母校で切々と

長男健太さんの母校である松山小で、田村夫妻は切々と講話を行った。健太さんは同校の卒業生。会場では、親子の思い出や子どもを失った親の悲しみ、防災伝承の意義などを記した健太さんの絵本「ふしぎな光のしずく〜けんたの約束〜」も朗読された。児童たちは健太さんの冥福を祈り黙とうをささげた。



手を合わせ黙とうする児童

これまで防災の観点から企業や大学で講話することが多かった田村さん夫妻。今回の講話は、弘美さんが職員だった市社協松山支所での講演がきっかけになり、健太さんの母校での開催が決まった。（川村公俊）

避難所でテント使って

県トラック協会気仙沼支部

市に簡易式40張り寄贈



災害時の避難所運営に役立ててもらおうと、気仙沼市内の運送事業所が加盟する県トラック協会気仙沼支部は9日、市に簡易式テント

40張りを贈った。市役所で寄贈式があり、白井真人支部長らが菅原茂市長にテントを手渡した。白井支部長は「災害時にも

簡易テントの仕様を確認する菅原市長（左から2人目）と白井支部長（左端）ら

「みやぎ情報コーナー」宛先
〒980-8660
河北新報社「みやぎ情報コーナー」係
ファクス 022(211)1482
メール jouchou@pc.kahoku.co.jp
※イベント名、日時、場所、内容、事前申し込み・予約の有無、連絡先が分かる資料を送ってください。

ちろん、スポーツ大会など平時にも有効活用してほしいと述べた。テントはワンタッチ式で、縦横2.0m、高さ1.90m。市防災物資集積配送基地に備蓄し、地震や津波発生時に市内の早期開設避難所21カ所に配備する。授乳や着替えのほか、テント内に簡易トイレを置いて個室トイレとして活用してもらおうという。

菅原市長は「避難所ではいかにプライバシーを保護しながら生活するかが課題になる。特に女性や子どもを抱えたお母さんの助けになるのでは」と感謝した。

復興祈念焼き肉どうぞ

栗原・関村畜産 女川町民を招待

東日本大震災から15年になるのを前に、栗原市菜館の関村畜産は8日、女川町民を激励し、復興を祈念しようと、同市の焼き肉店に町民を招待した。女川町の補習 行政区の住民や児童クラブの小学生と保護者ら計48人が訪問。関村畜産の関連会社セキムラが運営するレストラン幸之助でブランド牛「漢方牛」の焼き肉とコース料理を堪能した。



招待を受けた行政区長の阿部和人さん（73）は「応援してくれている人がいることを知って感動している。素晴らしいおいしい肉だった」と喜びを話した。関村畜産の関村清幸代表（73）は高校時代、同町出身の先輩で漁師仕事を手伝った。長年交流を続けてきたのが縁で、2014年から住民を招待している。「女川は第一の古里。これからも招待を続けて、いずれは栗原市と女川町民が毎年、行政区ごとで振り分けている。

震災の

南三陸署 前町長 佐藤さん講演

東日本大震災の風化防止を図ろうと、南三陸署は、前南三陸町長で震災伝承施設「南三陸311メモリアル」の特別顧問を務める佐藤さん（74）を招いた講演

震災発生時、自動車整備士として山形県で働いていた交通課の男性課長（39）は「当時の心情や状況を自分のことのように感じられた。事前の備えを忘れず、

講演会は2月26日にある。交際サービス、被災時に一人でも多くの命を救うために、冬場の寒い中、手作業で水を使って洗った。彼らは心を病まなかったかといまだに思っている。町民に代わって感謝したい」と話した。震災発生時、自動車整備士として山形県で働いていた交通課の男性課長（39）は「当時の心情や状況を自分のことのように感じられた。事前の備えを忘れず、

みやぎ情報コーナー
開催し
復興交流会「仙台はなもく七三会」例会 12日午前7時半、仙台市青葉区・ホテルメトロポリタン仙台・音楽ホール・メモリアルホールを考慮する市民会館代表の高橋浩二さんが「仙台市復興施設を志すもの」に2000円、八木さん1000円、2000円、八木さん1000円、6200円、5100円。

河北新報社運営 専門家紹介サイト **マイベストフロ** 宮城

マイベストフロ宮城の詳しい情報は <https://mbp-japan.com/miyagi/> または **マイベストフロ宮城**

宮城の専門家を募集中。

マイベストフロ宮城は地域の「誰に相談すればいいの?」「専門家にきてみたい」にお応えする生活支援サイトです。この度、マイベストフロ宮城では「地域の困った」を解決に導く専門家を募集します。ご希望の方は、電話もしくはメールにてお問い合わせください。詳細につきましては、担当からあらためてご連絡させていただきます。自薦他薦は問いません。ご連絡をお待ちしております。

※ご登録には審査がございます。

マイベストフロ宮城への掲載・登録に関するお問い合わせは「マイベストフロ事務局」まで。

0120-888-198 受付時間 10:00~17:00 (土日・祝日除く)

info@mbp-japan.com マイベストフロ登録

「マイベストフロ募集の紙面を見た」と言って頂けたらスムーズです。 河北新報社

東日本大震災仙台市追悼式

日時 **3月11日(水) 8時30分~17時**

会場 勾当台公園仮設広場 (本町3丁目9-2)
若林区文化センター (若林区南小泉1丁目1-1)
宮城野区役所 (宮城野区五輪2丁目12-35)
太白区役所 (太白区長町南3丁目1-15)
泉区役所 (泉区泉中央2丁目1-1)
宮城総合支所 (青葉区下愛子字観音堂5)
秋保総合支所 (太白区秋保町長狭字大原45-1)
せんだい3.11メモリアル交流館 (若林区荒井字西原)

(追悼式) 日時 3月11日(水) 14時30分開式 会場 若林区文化センター(若林区南小泉1丁目1-1)

(追悼式の中継) 各献花場にて、式典の模様を中継します ※仙台市公式動画チャンネル「せんだいTube」でも

市民の皆さまには、3月11日(水) 14時46分

DMを河北新報の配達ネット

配布料金(1通)

定形内 (角3まで)	600gまで	85円
定形外 (角2まで)	600gまで	120円
右記条件内	1kgまで	150円

メール便

消費税はご利用いただいた金額の総額に計算となります。